

令和元年度 磐田市立向陽中学校 学校評価書

項目	学校経営目標	具体的実践内容	評価項目(数値はH29,H30,R1)	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
1	(1)学びのつながりを大切に、「学びの地図」を意識した授業づくりの推進	イ. 新学習指導要領(学びの地図)への対応	生徒は、該当学年の学習内容を理解している。(教師:70.0⇒61.5⇒80.0)(保護者:66.1⇒64.3⇒66.9)	A	○保護者はあまり変化していないが、教職員の評価が向上した。「主体的・対話的で深い学び」を実現する更なる授業改善、定期テスト前に進んでいる学習相談日の更なる充実を図りたい。	
2			生徒は、自分の考えを積極的に伝えている。(教師:64.7⇒53.8⇒73.3)(保護者:61.2⇒58.9⇒64.0)(生徒:79.6⇒74.6⇒72.3)	B	○教職員、保護者の評価は向上しているが、生徒の評価が低下している。授業や学校生活の中で、考えをまとめる時間や級友同士で意見を共有する時間を十分に確保したい。	○少人数校のためか、他との競い合う考え方が少し低いのではないかとと思われる。 ○大藤体育祭での向陽中生ボランティアでの活躍は素晴らしいものだと思いますが、概して子どもたちはおとなしい子が多いように思います。 もっと自己主張があってもいいと思います。
3			生徒は、進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している。(教師:100.0⇒61.5⇒53.3)(保護者:52.8⇒61.2⇒62.3)(生徒:71.4⇒73.9⇒81.8)	B	○生徒の評価は向上しているが、教職員、保護者が低下している。日頃の授業の中で質問しやすい雰囲気を作り、生徒のつづやきを丁寧に取り上げながら展開する授業をさらに目指していきたい。	
4			「考える道徳」「議論する道徳」への授業改善に取り組んでいる。(教師:×⇒100⇒92.9)	A	○昨年度に続き、本年度の校内研修会における取組の柱であり、学年を中心に、研究授業やローテーション道徳を実施した。来年度は、安定した成果がため、新学習指導要領から始まる新しい観点について研修を進めたい。	
5			「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいる。(教師:×⇒100⇒100)	A	○昨年度から教職員の評価項目としたため、経年変化を見ることがあまりできないが、今年度は全職員が肯定的に回答した。今後も継続できるよう、校内研修会等で研修を進めたい。	
6	(2)行事や諸活動とおして所属感や自尊感情を高める特別活動	ウ. 積極的に社会に参画しようとする態度を養う体験活動	生徒は、行事や課外活動に積極的に参加している。(教師:100⇒92.9⇒100)(保護者:93.2⇒92.9⇒88.6)(生徒:96.5⇒91.8⇒90.9)	B	○教職員は安定した数値を示しているが、保護者、生徒とも減少傾向である。教育課程を工夫し、行事の活動や部活動の時間を、より確保していきたい。	コスモス文化祭の発表内容が午前、午後と入れ替わったことは、今年の工夫であったと思います。コスモス学習の発表は、全員の生徒が関わっているだけあって、大変熱心に取り組んでいました。また、広島記念式典への参加報告は、内容はちまたのこと。発表の態度、話す態度、言葉遣いなども素晴らしいものでした。生徒も参観の保護者も内容を聞き、考える良い機会になったと思います。中学生らしい発表に感動しました。
7	(3)受容と共感、人間尊重の精神を基盤とし、積極的で機動的な生徒指導	ア. 「生活三訓(時を守り、礼を正し、場を清める)」の意識付けによる基本的な生活習慣の確立を目指し、「よりよく生きる力」を育てる指導	生徒は、進んであいさつをしている。(教師:70.6⇒84.6⇒80.0)(保護者:90.5⇒97.3⇒90.2)(生徒:96.6⇒97.8⇒95.2)(学校運営協議委員:×⇒85.7⇒92.9)	B	○保護者、生徒ともほぼ90%を超える高い数値を示しているが、ともに減少傾向である。学校運営協議委員から、やや弱くなっているとのご意見をいただいた。教職員自らも積極的にあいさつを行い、あいさつを盛り上げていきたい。	○あいさつは多くの生徒がしっかりできている。朝の交通指導で中学生と出会う機会が多く、とても気持ちの良い挨拶をいつもしてくれます。小規模校ならではの特色ある教育を期待しています。以前、「コスモス」という言葉で、学校、地域、家庭が一体となって教育を実施したという時期がありました。現在、その精神は受け継がれていますが、具体的なものが見えない気がします。
8			生徒は互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。(教師:94.7⇒84.6⇒100)(保護者:95.3⇒93.1⇒93.7)(生徒:98.1⇒91.8⇒94.1)	A	○すべてにおいて安定した数値を示している。今後も学校の決まり等を教職員で共有したり、委員会活動で生徒と活動を共にしながら、学校の秩序を維持していきたい。	○ふれあいまつりでの吹奏楽部での自主参加化、木琴など大型楽器の自己搬入など、残念なことが多かったです。部活動の在り方の見直しが進んでいるのは承知しておりますが、地域と中学生をつなぐものが減っていくのはさみしく思います。
9		ウ. 多面的、総合的、内面的な理解など生徒理解の進化	子ども理解の深化(深い子ども理解)に努めている(教師:100⇒100⇒100)	A	○全職員が肯定的に回答した。今後も生徒理解の会や生活アンケート、担任による日記の点検等を行い、今後も子ども理解に努めていきたい。	○1年生に不適応感のある生徒が何人かいるようで、気になる場所です。それぞれの事情、原因など違うと思いますが、将来を見据えた対応をお願いします。
10	(4)健康で安全・安心な生活と教育環境の整備・充実	イ. 危機管理体制や防災体制の確立と防災教育の推進	安心・安全に対する指導・助言に気を使っている(教師:95.0⇒100⇒93.3)	A	○本年度は全職員が肯定的に回答した。年2回の防災訓練、3・11防災の日に行う防災講話など、防災に係る行事を今後も継続させていきたい。	○水曜の下校時の交通マナーの悪さも変わらずです。地域と共に学校でも御指導をお願いします。
11		ウ. 学校保健委員会や「健康・安全の日」を通じた保健指導の充実	生徒は、規則正しい生活を送っている。(教師:95.0⇒100⇒93.3)(保護者:72.3⇒77.0⇒76.6)(生徒:88.3⇒91.3⇒88.8)	B	○保護者の評価と、教職員、生徒の評価と差がみられる。年2回実施している「早く寝よう週間」等で、家庭での生活を見直す取組をより充実させていきたい。	○生徒会の活動方針にもありますが、今の向陽中生は全体に幼く、あいさつや礼儀に欠ける子が多いと思います。地域での活動中(防災訓練やふれあいまつりなど)あいさつや返事ができない子、正しい言葉遣いができない子が目立ちます。向陽ジャンパーを身に付けている時、周りは中学生だとわかります。ふざけたい態度を身に付けて卒業してほしいです。
12	(5)地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」への転換	ア. 教育活動の目標やビジョンの発信と保護者や地域の思いの受信による理念の共有	(教師)学校教育目標や学校の活動を地域に広めようとしている。(100⇒84.6⇒93.3)	A	○学校ホームページや学校だより等を通じて、学校の経営方針や教育活動の具体的な様子など、保護者や地域住民に対して発信することができた。また、学校運営協議会の場で周知してもらうことができた。	学校の様子については、ホームページだけが情報源ですが、以前のように学校だよりや学年だよりが更新されず、子どもたちの行事の様子しかわかりません。登校時間が遅くなったことなど、地域で見守りしている人にも伝えたいです。
13			(保護者)向陽中はコスモスの精神をもった生徒が理想の生徒であるを知っている。(91.4⇒98.3⇒96.6)	A	○学校ホームページや学校だより等を通じて、学校の経営方針や教育活動の具体的な様子など、保護者や地域住民に対して発信することができた。また、学校運営協議会の場で周知してもらうことができた。	○学校運営協議会へ参加させていただき、学校の様子、生徒さんの様子がよく分かり、大変ありがたく思います。先生方、今年度もあと1学期ありますが、いろいろなご尽力いただき、ありがとうございました。学校が目指す「生徒像」は理想とする姿が明確で、それぞれの項目が学年を越えて身に着けたい段階を踏んだ内容であるとも受け取れます。今後もどんな場面でもどんなことを目指すのか、生徒が意識できるように、声をかけていってほしいと思います。
14			(生徒)コスモスの精神を意識して生活している。(95.2⇒80.9⇒88.3)	A	○生徒による評価が低下した。朝礼による校長の講話や、朝の会や帰りの会などの日常の取組の中で、コスモスの精神について、教員が意識して生徒に話す場面を増やしてきたことが、効果として表れたと考える。	
15		イ. コミュニティ・スクールと向陽学府小中一貫教育の一体的な取り組み	生徒は今すんでいる地域の歴史や自然について感心がある(保護者:69.4⇒50.0⇒49.1)(生徒:67.7⇒63.0⇒66.1)	C	○保護者、生徒とも評価が低下している。小学校生活科や社会科等の時間で扱っている地域の学びを、総合的な学習の時間や社会科等で生かしていく授業を展開していきたい。	
16		ウ. 地域行事への積極的な参加	生徒は、地域の活動に積極的に参加している。(教師:95.0⇒92.3⇒100.0)(保護者:81.2⇒77.3⇒78.9)(生徒:85.8⇒76.2⇒86.6)	A	○地域の活動に積極的に参加している。今後も地区体育祭、防災訓練、交流センター主催の行事には積極的に参加し、地域との互恵関係、コミュニティづくりがより深まるよう促していきたい。	○防災訓練等、地域の活動に積極的に参加する前向きな姿が見える。
17	(6)人間性や指導力向上を目指す頼もしい教職員集団の形成	ア. 教職員一人一人が力を発揮できる環境づくりと危機に強い組織づくり	学校運営に積極的に参加しようとした。(教師:95.0⇒100⇒100)	A	○本年度はすべての項目について、教職員の評価が100%に近い数値となった。教職員を適材適所に配置した学校組織、報告・連絡・相談を徹底してきた強固なつながりを持つ教職員集団の成果と判断する。	○生徒は何の問題もなく学校生活を送っているように思えます。
18			熱意と情熱をもって教育実践している(教師:100.0⇒100⇒100)	A	○今後は、教育課程、学校事務等の効率化・適正化を更に追求し、豊かな人間性生徒思いやりのもつ教職員を目指し、取り組みを進めたい。	○たまたま運営委員の立場で接して、初めて知ることが多く、学校教育の現状が少し垣間見えたかと思っていました。指導する側の難しさは、社会で散々味わってきました。教育改革も含め、教師の皆さんには、健康には十分注意して、職務に従事願います。
19		ウ. 兼務連携による学校事務の効率化・適正化及び学校諸会計の効率的で透明な遂行	教育課程・学校行事は適切であった。(教師:94.7⇒92.3⇒100.0)	A		
20			学校運営組織、諸会議は機能的・効率的である。(教師:75.0⇒76.9⇒93.3)	A		
21		エ. コンプライアンス委員会を核とした不祥事根絶の取組	教育公務員としての資質向上に努めている。(教師:100⇒95.0⇒100)	A		